

※評価基準
A 達成
B ほぼ達成
C 取り組みがやや不十分
D 取り組みが不十分

※ 記載担当
【○】 主 担 当
【△】 副 担 当

平成29年度 自己点検評価書

アンダーライン: 第1回運営委員会以降の追加・変更点

Table with columns for evaluation items, categories, and various departments. Includes a legend for symbols (○, △) and a list of 19 items under '業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置'.

77	I	1	(3)	④	教員採用において女性志願者が増加する工夫の実施	○													能力が同等と認められる場合は女性を優先することを公募要領に記述している。(教務主事) ポストウ女性、博士後期課程在学中の女子学生を対象とする高専教員体験インターンシップを本年度も開催する。(教務主事) 新規採用に当たり、応募資格に能力が同等と認められる場合は、女性を優先すると記載した。(機械) 現在女性教員が1名勤務しており、この実績が女性の積極的応募に有効、また公募時には同等の場合女性を採用する旨の本校で共通した表現で応募を易くしている。(電気電子) 女性教員は男性教員と同様な条件採用をしています。(制御) 昨年度は、女性研究者のインターンシップを受入れた。今年度は応募が無かった。(生化) 新規採用職員1名は女性である。(材料シ) 採用要件に能力が同等であれば女性を採用すると明記している。(文)	A(教) A(機) A(電) A(制) B(生) A(材) A(文)	A	A	公募に記載するようにする。(教務主事) 公募時に女性教員を優先的に採用する旨の記載を行う。(機械) 次年度に欠員が生じた場合、女性教員も積極的に採用する。(制御) 来年度も公募予定である。(生化) 女性研究者のインターンシップを受け入れる(材料シ) 継続。(文)	
78	I	1	(3)	⑤	高専機構主催の教員研修、全国高専フォーラムへの教員派遣	○													5/16～5/17開催の新任教員研修に、本年度採用3名と、昨年度採用者のうち未受講者2名(他は昨年度受講)が参加した。(教務主事) 全国高専フォーラムへは、本校を代表校とするOS2件を開催した。本校の高専フォーラム出席者は11名である。また、同時に開催された平成29年度女性研究者交流会へ1名を派遣した。(教務主事) 該当なし。(機械) 全国高専フォーラムに3名参加した。(電気電子) 新任教員が教員研修に参加した。(制御) 全国高専フォーラムに教員を派遣した。(生化) 新規採用職員2名が新規採用教員研修に参加した。(材料シ) 新任の研修に教員派遣した。(文) 本校主催の高専フォーラムに1名が参加した。(理)	A(教) A(機) A(電) A(制) A(生) A(材) A(文) B(理)	A	A	今年度と同様に実施する。(教務主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 継続参加する。(電気) 来年度も参加予定である。(生化) 希望者があれば派遣する。(材料シ) 継続。(文) 本年度に引き続き教員派遣を目指す。(理)	
79	I	1	(3)	⑤	教育改善会議の企画運営													○	年3回のテーマと担当部署を調整した。第1回はキャリア支援室主催による「キャリア支援」に関する講演会、第2回は教務主事室による「他高専における教育改善の取り組み」と「(2)教育研究支援センターの活動」に関する講演会、第3回は学生相談室による「学校における自殺予防」に関する講演会を実施した。(企画主事)	A(教) A(企)	A		今年度と同様に実施する。(教務主事) 次年度も年3回の開催を企画する。(企画主事)	
80	I	1	(3)	⑥	「功労賞」の募集、審査、授与、表彰の実施	○														募集予定。(教務主事)	A(教)	A	A	今年度と同様に実施する。(教務主事)
81	JB	1	(3)	⑥	教育活動の評価および授業参観の評価によると顕彰の検討(JABEE基準2)	○														初めに教員による授業参観件数を増やすために教務委員に、授業参観をお願いした。(教務主事) 授業参観を数度実施した。(機械) 毎年定期的に学科内で授業参観を実施している。(電気電子) 学校の規定により、実施しています。(制御) 学校の規定に従っている。(生化) 特に新規採用職員を対象に、相互授業参観を行った。(材料シ)	A(教) A(機) A(電) A(制) B(生) A(材)	A		今年度と同様に実施する。(教務主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 継続実施する。(電気) 来年度も同様に対応する。(生化) 教員間の授業参観を積極的に進める。(材料シ)
82	I	1	(3)	⑥	機構実施の「教員顕彰制度」への推薦	○														例年通り実施した。(教務主事)	A(教)	A		今年度と同様に実施する。(教務主事)
83	I	1	(3)	⑦	国内外研究員の派遣	○														平成29年度は一般理科学の谷津教授が東京大学へ内地留学している。また、8月に萩原准教授(生化)が米国に語学留学した。(教務主事) 該当なし。(機) 平成29年度は国際会議などでの海外発表出張のみ。(電気電子) 本年度、萩原准教授が米国ニューヨーク市立大学に派遣された。(生化) 該当なし。(文)	A(教) C(機) C(電) A(生) D(材)	A	A	今年度と同様に実施する。(教務主事) 積極的に推進する。(機械) 実施について検討する。(電気) 該当なし。(生化)
84	I	1	(3)	⑦	教員の国際学会での発表促進	○														教育研究助成による補助を若手教員に行った。(教務主事) 発表を促進している。(機械) 今年度は5月に1名、9月に2名発表した。(機構主催 ISATE2017)(電気電子) 各々の教員による参加を努力していますが、教員に任せております。(制御) 本年度も発表している。(生化) 5名の教員が国際学会で発表を行った。(材料シ) 促進している。1件有り。(文)	A(教) C(機) A(電) A(制) A(生) A(材) A(文)	A		今年度と同様に実施する。(教務主事) 積極的に推進する。(機械) 継続実施する。(電気) 促進する予定である。(生化) 積極的に進める。(材料シ) 継続。(文)
85	I	1	(3)	⑧	教員採用・昇格に関する基準・規定の適正運用	○														採用については募集要項確認、調査委員の選定、選考まで規則に従って人事連絡委員会で審議・承認している。また、校長より校長裁定として昇任基準が示され、これにそった昇任審査を行っている。(教務主事) 適正に行っている。(機械) 適性に運用している。(電気電子) 適正運用をしています。(制御) 適性に運用している。(生化) 適正に運用している。(文) 運用を適切に行った。(理)	A(教) A(機) A(電) A(制) A(生) A(文)	A	A	今年度通りに実施する。(教務主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 継続実施する。(電気) 適性運用する。(生化) 適正に運用する。(材料シ) 継続。(文)
86	I	1	(3)	⑧	紀要の教授・准教授昇任要件における査読付き論文に準ずる扱いの検討	○														結論はだせていない。(教務主事) 該当なし。(専攻科主事)	A(教)	A		カウントする方向で検討する。(教務主事)
(4) 教育の質の向上・改善																								
87	I	1	(4)	①	モデルコアカリキュラムへの対応	○														8/21～23開催の平成29年度全国高専フォーラムに人員を派遣し、モデルコアの動向について情報収集した。(教務主事) モデルコアカリキュラムに定めてある事項を網羅したシラバスにしたがって、授業を行った。(機械) Webシラバスにより対応している。(電気電子) モデルコアカリキュラムへの対応を考慮し、Webシラバスに記入している。(生化) モデルコアカリキュラムへの対応を行っている。詳細な対応状況はwebシラバスに記載している。(材料シ) 対応している。(文)(理)	A(教) A(機) A(電) A(生) A(材) A(文)	A	A	達成しました。(教務主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 継続実施する。(電気) 対応する。(生化) 引き続きモデルコアカリキュラムへの対応を行う。(材料シ) 継続。(文)
88	I	1	(4)	①	Webシラバスの取りまとめ校としての対応	○														和泉先生を中心に対応しており、平成30年度版が8月に完成した。(教務主事)	A(教)	A		今年度通りに実施する(教務主事)
89	I	1	(4)	①	ICT活用教育取組み実情の把握及び導入検討	○														新カリキュラムに導入できるか情報収集を行っている。(教務主事) CAD演習、機械要素設計実験、機械工学実験(FEMによる弾性解析)などで、ICT活用教育に対しては十分に取組みを行っている。(機械) CAD、その他教材を含めICT教育に対応の充実を図っている。日進月歩の分野であり、毎年の改善、向上を必須として取組を継続している。(電気電子) CBTIに参加した。(生化) CBT問題作成に参加している。(材料シ)	B(教) A(機) A(電) A(生) A(材) A(文)	A		引き続き検討する。(教務主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 継続実施する。(電気) 機会があれば検討する。(生化) CBTIに継続して取り組む。(材料シ) 継続。(文)
90	I	1	(4)	①	教材共有化の他高専の取り組み状況把握	○														情報収集を検討中。(教務主事) 各教員で問題を共有化し、状況等整理した。(機械) 全国高専フォーラムなどで情報収集に努めている。(電気電子) 対応していない。(生化) H28年度参加した教材共有化のネットワークを活用することを検討する。教材共有 キックオフ会議に参加した。(材料シ) 該当なし。(文)	A(教) A(機) A(電) C(生) A(材) C(文)	A		引き続き検討する。(教務主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 継続実施する。(電気) 機会があれば検討する。(生化) 継続して教材共有化のネットワークを活用する。(材料シ)
91	I	1	(4)	①	機構主催アクティブラーニング研修、ルーブリック評価研修等への参加	○															B(教)	D		機会があれば参加する。(教務主事)

104	I	1	(4)	④	教育活動の実態を示すデータや資料の収集・蓄積	○	○													成績評価の根拠とした答案、レポートの10年保管を要請した。(教務主事) 各プログラムでのJABEE関連資料と別に、専攻科サーバーにデータを蓄積している。(専攻科主事) 各種データおよびファイルを学科のサーバーに随時アップしている。(機械) 専門科目や進路関係の行事において必要に応じて学生アンケートを独自に実施している。(電気電子) 学科サーバーを構築し、教育活動の全データを蓄積している。(生化) 専門各授業の最終回において、学科独自のアンケート調査を行っている。(材料シ) 英語科では1,3年生の外部評価テストやTOEICの成績を蓄積し分析している。(文) 数学科では1年生の定期考査毎に振り返りを行っておりその資料を蓄積している。(理)	A(教) A(専) A(機) A(電) A(生) A(材) A(文)	A	今年度同様に実施する。(教務主事) 継続して実施していく。(専攻科主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 同様の対応を行う。(生化) 過去の試験・レポートなどを電子ファイル化し、蓄積を進める。(材料シ) 継続。(文)	
105	I	1	(4)	④	全国高専の教育方法の試み、効果的な取組事例調査及び全教員への周知	○	○	○												九州・沖縄地区高専フォーラムへ参加した。(専攻科主事) 全国高専フォーラムで2件の教育研究ポスターセッションを実施し、教員4名及び技術職員2名が参加した。(企画主事) 全国高専フォーラムでポスタ発表により教育方法の試みを周知した。(電気電子) 学会、シンポジウム、フォーラムなどを通して他高専との情報共有を進めている。(生化) CBT、教材共有で得られた知見を学科会議等で情報共有している。(材料シ) 各教科内で行われている。(文)	A(教) A(専) A(企) A(機) A(電) A(生) A(材) A(文)	A	今年度同様に実施する。(教務主事) 次年度も同様な取り組みについて実施の可能性について検討する。(専攻科主事) 平成30年8月20日～22日に開催予定の全国高専フォーラムへの積極的な参加を促す。(企画主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 同様の対応を行う。(生化) 情報共有を継続する。(材料シ) 継続。(文)	
106	I	1	(4)	④	異なる学科出身者が共同で取組む内容の創造工学実験への導入検討		○													専攻科1年生の創造工学実験にて共同で実施した。(専攻科主事) 専攻科創造工学実験で機械・電気システム専攻内の学生間で共同で実施する内容を盛り込んだ。(機電、電気電子) 創造工学実験において実施した。(生化) 創造工学実験において、他学科学生とのディスカッションの時間を新たに設け、実施した。(材料シ)	A(専) B(電) A(生) A(材)	A	継続して実施していく。(専攻科主事) 同様の対応を行う。(生化) 創造工学実験での他学科との共同を継続する。(材料シ)	
107	I	1	(4)	⑤	本科4年インターンシップの実施															夏季休暇にインターンシップに参加した。(機械) 4年生で実施済み(電気電子) 実施しています。(制御) 40全員がインターンシップに参加し、報告会を行った。(生化) 4M 14名の学生が短期インターンシップに参加した。報告会を9/8に実施した。(材料シ)	A(機) A(専) A(電) A(制) A(生) A(材)	A	A	今年度と同様に実施予定。(機械) 継続実施する。(電気) 同様の対応を行う。(生化) 4年時のインターンシップを今後も継続する。(材料シ)
108	I	1	(4)	⑤	専攻科インターンシップの実施			○												1年生が夏季休暇中に実施、9月に報告会を開催した。(専攻科主事)	A(教) A(専)	A	今年度同様に実施する。(教務主事) 継続して実施していく。(専攻科主事)	
109	I	1	(4)	⑤	九州大学大学院総合理工学府と連携した専攻科インターンシップの実施			○												インターンシップを継続的に実施してきている。(専攻科主事)	A(専)	A	継続して実施していく。(専攻科主事)	
110	I	1	(4)	⑤	九州大学大学院総合理工学府との連携協定の締結検討(第1回運営委員会)			○												連携協定を実施し、平成30年1月11日に包括協定に関する調印を行った。(専攻科主事)	A(専)	A	包括協定の内容の運用方法について検討していく。(専攻科主事)	
111	外	1	(4)	⑤	大学、大学院との連携強化の方策検討	△		○												タイ、キングモンクットとのMOAの締結3月に完了し、申込書の詳細を詰めた。平成30年2月11日～2月15日にかけてマレーシア工科大学との国際交流事業を実施した。(専攻科主事)	A(専)	A	継続した実施を検討していく。(専攻科主事)	
112	I	1	(4)	⑤	キングモンクット工科大学との学士・修士併行プログラムの運用準備(第1回運営委員会)			○												学生の海外派遣に向けた学内運用方法を検討する。専攻科委員会で海外派遣に関しては了承を得たが、ガイドライン等の整備が必要である。平成30年3月に学士・修士併行プログラムの対象となる本科学学生を専攻科予備プログラム教育として当該校へ派遣予定である。(専攻科主事)	A(専)	A	継続した実施を検討していく。(専攻科主事)	
113	I	1	(4)	⑥	高専機構の企業技術者等活用プログラム実施検討															専攻科1年の産業財産権特論及び生物応用化学科5年の産業財産権入門において、日本弁理士会九州支部・地域企業技術者・地域公設試験研究機関等の参加を得て実践的な教育を推進した(産学民)。	B(産)	B	B	予定なし。(産学民) 公募する機会があるのか不明であるため、項目削除を検討する。(産学民)
114	I	1	(4)	⑦	地域の高等教育機関との単位互換制度実施	○		△												高等教育コンソーシアム久留米(久留米大学・久留米工業大・聖マリア学院大学・久留米信愛女子短期大学)を組織して単位互換協定を結んでいる。(教務主事) 例年開講していた4大学1高専の共同講義がH29年度は市民講座との共同開催となった。(専攻科主事) 高等教育コンソーシアム久留米を介して単位互換協定校(久留米大学・久留米工業大学・聖マリア学院大学・久留米信愛女子短期大学)との単位互換共同講義(10月14日～12月2日:全5回)が実施される予定である(産学民)。	A(教) C(専) B(産)	A	A	今年度同様に実施する。(教務主事) 今後のあり方について協議をすすめる。(専攻科主事)
115	I	1	(4)	⑦	技術科学大学等の理工系大学との研修会参加等による教員交流実施	○														教員1名が、 ・三機関連携プロジェクト アグロインダストリー(農芸化学) H24.3-H29.8に採択されており、本年度はその最終年度に当たり、長岡技科大の教員と交流した。 ・平成29年度高専一長岡技科大共同研究助成に申請したが、今年度は不採択であった。 ・H29 10/27(金)に、長岡技科大の共同研究者を招いて学生を対象とした講演会を行った。 教員1名が、 ・平成29年度高専連携教育研究プロジェクト(3企業連携研究プロジェクト)に採択されており、共同研究を通じた豊橋技科大の教員との交流があった。(生化) 学会活動、研究会活動、専攻科先端工学特論などの機会を活かし、技科大・理工系大学との教員交流を行っている。(材料シ) 実施していない。(文)	A(教) A(生) A(材) C(文)	A	機会があれば利用する。(教務主事) 機会があれば検討する。(生化) 教員交流を継続する。(材料シ)	
116	I	1	(4)	⑧	教育用電子計算機システムの活用															29年度にPC教室のPCシステムを刷新した。更新にともなう色々なトラブルがあったが、解消した。(総合) CAD演習、機械要素設計実験などCAD/CAEを用いる授業をIT演習室で行っており、教師用の授業支援システムなども有効に利用している。(機械) 複数の専門教科で活用した。(電気電子) 多くの授業に活用をしています。(制御) 情報処理の授業や実験データの処理はもとより、生物学、産業財産権等でも活用している。(生化) 情報処理の授業、学生実験、卒研のデータ整理でL1L2教室を活用している。(材料シ) 成績管理に活用している。(文)	B(総) A(機) A(電) A(制) A(生) A(材) A(文)	A	A	継続。(総合) 今年度と同様に実施予定。(機械) 継続実施する。(電気) 次年度も引き続き実施する。(制御) 同様の対応を行う。(生化) 継続活用する。(材料シ) 継続。(文)
117	I	1	(4)	⑧	コンピュータ支援語学学習(CALL)システムの活用															英語において全学生が活用している。(文)	A(文)	A	継続。(文)	
118	I	1	(4)	⑨	一般科と専門学科の連携強化	○														学科会議等で学生の状況等、連携を行っている。(機械) 英語活用の観点から一般(英語)担当教員と専門科目教員とで学生向け企画を提案実施した。また、1年、2年の担任教員と専門学科教員とにより学生の状況把握を促進する会を複数回開催した。(電気電子) 毎年度に一般学科と意見を交換することなどで連携を図っています。(制御) 一般理化学系と連携し、4年応用化学実験、専攻科研究等を実施した。また、一般文科・理科教員と合わせて担任懇談会を行った。(生化) 卒業研究において、一般科目(理科)の教員と協力して卒業研究を行っている。(材料シ) 今後検討する。(文) 各教員で個別に専門学科の教員と情報交換したり、卒業研究に協力するなど連携をした。(理)	A(教) A(機) A(電) A(生) A(材) C(文) B(理)	A	A	引き続き検討する。(教務主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 継続実施する。(電気) 次年度も実施する予定。(制御) 同様の対応を行う。(生化) 一般科目(理科)の教員と協力しての卒業研究を継続実施する。(材料シ) 継続。(文) 今後も継続する。(理)

